

主日礼拝

2022年05月15日
午前10時30分

前奏 「心を一つに」 (G.リヤルドン)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「主に向かって喜び歌おう。
救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。
御前に進み、感謝をささげ
樂の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。
主は大いなる神
すべての神を超えて大いなる王。」 (詩編95:1~3)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも に、
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。
アーメン。

交読詩編 40:1~7

司式者：主にのみ、わたしは望みをおいていた。
みんな：主は耳を傾けて、叫びを聞いてくださった。
司式者：滅びの穴、泥沼からわたしを引き上げ
みんな：わたしの足を岩の上に立たせ
しっかりと歩ませ
司式者：わたしの口に新しい歌を
みんな：わたしたちの神への賛美を授けてくださった。
司式者：人はこそって主を仰ぎ見
みんな：主を畏れ敬い、主に依り頼む。
司式者：いかに幸いなことか、主に信頼をおく人
みんな：ラハブを信する者にくみせず
欺きの教えに従わない人は。
司式者：わたしの神、主よ
みんな：あなたは多くの不思議な業を成し遂げられます。
司式者：あなたに並ぶものはありません。
みんな：わたしたちに対する数知れない御計らいを
わたしは語り伝えて行きます。
司式者：あなたはいけにえも、穀物の供え物も望まず
みんな：焼き尽くす供え物も
罪の代償の供え物も求めず
一緒に：ただ、わたしの耳を開いてくださいました。

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出されたまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ヨハネによる福音書 15:1~11

新約(新共同訳)p198~p199

「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっているが、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる。父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。

賛美 196(1,2,4) 「主のうちにこそ」

주 안에 기쁨 안에 BIBLICAL SONG
 詞：박성문, 1929- 曲：오호준, 1991-

① 主のうちにこそ 喜びあり。 3 主のうちにこそ いのちがある。
 ② 主のうちにこそ 愛が育つ。 ④ 主のうちにこそ すべてがある。
 ③ 主のうちにこそ 希望求めて 主に生きよう。 ④ 主イエスは道、
 ③ 主のうちにこそ 絶望おしよせ 主こそあがない、わが救い。
 ③ 主のうちにこそ 希望 主にあり、ゆるがない。

- ① 主のうちにこそ 喜びあり。 3 主のうちにこそ いのちがある。
 平和求めて 主に生きよう。 み国めざして 主に生きよう。
 不安ひそかに せまるとも、 暗い死のかけ おおうとも、
 平和 主にあり、ゆるがない。 いのち 主にあり、ゆるがない。
- ② 主のうちにこそ 愛が育つ。 ④ 主のうちにこそ すべてがある。
 希望求めて 主に生きよう。 主イエスはいのち、主イエスは道、
 絶望おしよせ 主こそあがない、わが救い。
 希望 主にあり、ゆるがない。 われら主にあり、ゆるがない。

説教 「まことのぶどうの木=イエス」

賛美 393(1,2,4) 「こころを一つに」

Herz und Herz vereint zusammen HERZ UND HERZ VEREINT ZUSAMMEN
 詞：Nikolaus L. von Zinzendorf, 1700-1760 曲：Bamberg, 1732

① こころを一つに 平和を求め、 3 主はわれらのために 苦しみを受け、
 ② 主を愛する愛 明るく燃やそう。 その友のために 命をすてた。
 ③ 主はぶどうの幹、われらその枝。 われらもたがいまことの愛を
 ④ 主はわれらのもの、われら主のもの。 兄弟姉妹と 共に分け合おう。

- ① こころを一つに 平和を求め、 3 主はわれらのために 苦しみを受け、
 主を愛する愛 明るく燃やそう。 その友のために 命をすてた。
 主はぶどうの幹、われらその枝。 われらもたがいまことの愛を
 主はわれらのもの、われら主のもの。 兄弟姉妹と 共に分け合おう。
- ② 恵みの子どもたちよ、 交わり深め、 ④ 分かたれたたみが 一つにされる
 愛とまことを 互いに誓おう。 その日が来るのを われらは望もう。
 われらのさすなが 弱まる時も、 主の光を受け その輝きを
 強めてください、主の愛により。 世界に示そう、主の弟子として。

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝禱

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「フーガ ヘ長調 BWV540,2」 (J.S.バッハ)

司式 大代 恵
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。